

平成16年12月 検定試験

【No.07】 デジタル・テスタに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) テスタの直流電圧表示値が5.0000Vのとき、性能表の直流電圧計に記載の確度が5Vレンジ「0.02 + 5」と表記されたテスタの実際の測定値は4.9985V～5.0015Vの範囲であることになる。
- (2) 電源電圧10V・抵抗値1MΩの抵抗を直列に2つ接続した回路において、片方の抵抗の両端に内部抵抗11MΩのテスタを接続したときの計算上の表示値は、約4.7826Vになる。
- (3) 最大入力電圧は、テスタに加えられる電圧の最大値を表し、AC750V・rmsなどと表示され交流電圧は実効値で750Vまで許容できることを表している。
- (4) NMRR(ノーマル・モード・リジェクト・レシオ)とは、大地を基準とした別の電圧(ノイズなど)が測定電圧に印加された場合に測定値に与える影響度を表し、「NMRR:60dB以上 50/60Hz」などと表示される。